

世界文化遺産 富士山

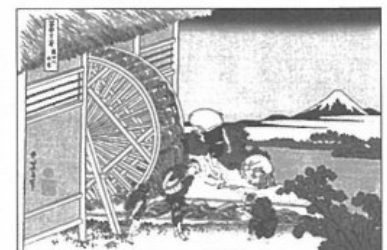
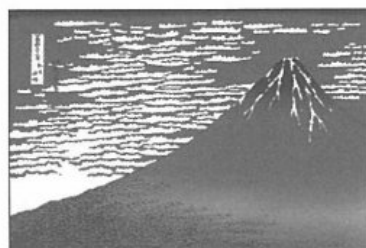
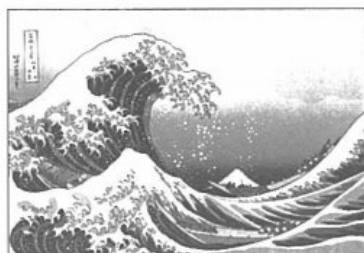
2013年（平成25年）6月22日、カンボジアのプノンペンで開かれていたユネスコ世界遺産委員会で、富士山が世界文化遺産に登録されました。

世界遺産というのは、人びとがこれからずっと守っていかねばならない価値のある自然や建物などで、国際連合の「ユネスコ（UNESCO）」で話し合っ、決められます。世界遺産には自然遺産、文化遺産、そしてこの2つを合わせた複合遺産があります。

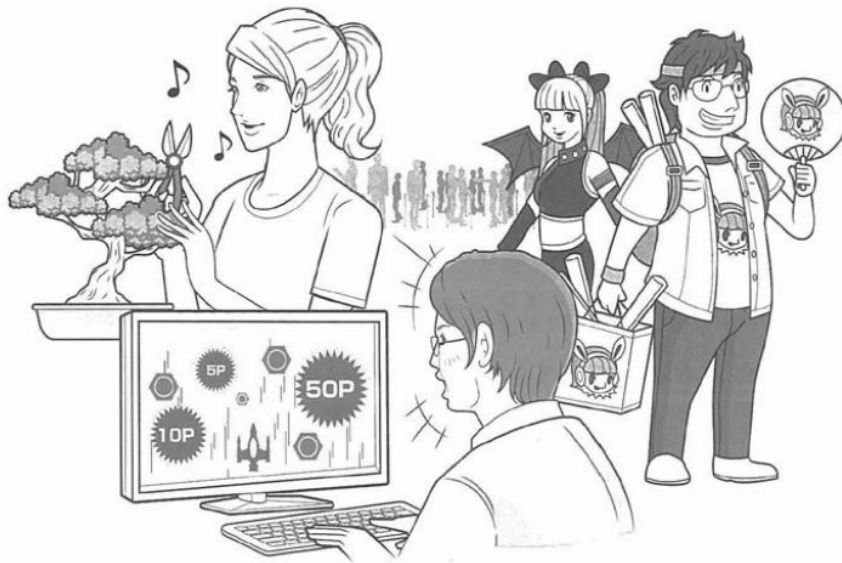
実は日本では、前に一度、富士山を世界自然遺産に登録しようという声がありました。しかしそのときは、富士山のまわりにあるゴミの多さなどが原因で成功しませんでした。

自然遺産をあきらめたあと、今度は世界文化遺産登録をめざすことになりました。富士山は昔から多くの文学作品や絵などで取り上げられ、多くの人々がお参りに訪れる場所でもあったからです。

地元の小中学校では富士山について学ぶ授業が始まるなど、「富士文化」を知ってもらうためのいろいろな努力が行われました。その結果、富士山は世界文化遺産に登録されることになったのです。



02





鉄道ファンは150万人以上

- 1 学校や会社、買い物などに出かけるときにわたしたちがよく利用している
- 2 鉄道。その鉄道を交通の手段としてだけ考えるのではなく、鉄道が大好きで
- 3 趣味だという「鉄道ファン」が、日本には少なくありません。多くの大学に
- 4 は「鉄道研究会」のような鉄道ファンのサークルがありますし、ある調査に
- 5 よると、国内の鉄道ファンは150万～200万人もいて、これは飛行機ファン
- 6 の3～4倍、バスファンの約10倍になるのだそうです。
- 7 これだけファンの数が多いと、「好き」の内容もさまざまです。子どもの
- 8 場合、ただ「鉄道が好き」というのがほとんどですが、鉄道ファンの多くは
- 9 大人になるにつれて、「乗るのが好き」「写真を撮るのが好き」というように、
- 10 好きの中身がだんだん細かく具体的にってきます。そのため、インターネット
- 11 トやマスコミでは、彼らのことをそれぞれ「乗り鉄」「撮り鉄」というように、
- 12 分けて呼ぶことも増えてきました。



〇〇鉄

それでは、「乗り鉄」「撮り鉄」のほかにはどのような鉄道ファンがいるのでしょうか。いくつか例を挙げてみましょう。

「音鉄」：電車の走る音や車内放送などを楽しむ人たち。その中で、これらを録音する人たちは「録り鉄」と呼ばれる。

「描き鉄」：電車や、鉄道のある風景を絵に描いて楽しむ。

「収集鉄」：鉄道に関係があるものを集めて楽しむ。切符・カードから、駅のサインや特急電車の座席などまで、集めるものはいろいろ。

「模型鉄」：鉄道模型を見たり、組み立てたりして楽しむ。

「時刻表鉄」：時刻表を見ながら、鉄道旅行を想像して楽しむ。

また、豚肉のレバーや納豆などの食品に含まれる「鉄分 (Fe)」を、鉄道ファンの間では鉄道に対する愛情を表す言葉として用い、鉄道愛が強い人を「鉄分が濃い」、それほどでもない人を「鉄分が薄い」ということもあるそうです。



鉄道ファンは女性にも

26 鉄道ファンというと、昔は男性だけというイメージでした。今でもその9
27 割以上は男性だと言われていますが、最近では女性の鉄道ファンも少しずつ増
28 えています。これは鉄道会社に女性の社員が増えたり、女性雑誌で鉄道に関
29 する記事が載るようになって、鉄道=男の世界という考えが次第に薄くなっ
30 てきていることが理由のようです。また、女性の場合は、子どものときから
31 ファンだったというよりも、そのような雑誌記事を読んで、実際に鉄道旅行
32 をして好きになったとか、鉄道好きの子どもと一緒に見に行くうちに、自分
33 自身も鉄道が好きになるなど、大人になってから鉄道ファンになる例が多い
34 のだそうです。

マナーを守って趣味を楽しむ

35 このように、その存在が広く知られてきた鉄道ファンですが、これだけ数
36 が多いと、中には問題行動を起こす人たちもいるようです。例えば、写真を
37 撮ることに夢中になりすぎて電車の運転を邪魔するとか、駅や車内にあるも
38 のを無断で持って帰ってしまう人もいるとのこと。

39 技術の面でも、サービスの面でも、世界のトップレベルにある日本の鉄道。
40 それを趣味にすることは素晴らしいことですが、だからこそ、鉄道ファンの
41 人たちには、ぜひともマナーを守って楽しんでほしいものです。